

第3次新座市地球温暖化対策実行計画【事務・事業編】の実施状況（令和4年度）

1 温室効果ガス排出量の推移

令和4年度に市の事務・事業に伴って排出された温室効果ガスの総量は10,276t-CO₂で、基準年度である平成25年度に比べて11.4%減少しました。

この結果によって、第3次新座市地球温暖化対策実行計画【事務・事業編】の計画目標である、平成25年度比で温室効果ガス排出量の10%以上の削減を達成いたしました。

	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
対基準年度比	—	▲9.8%	▲15.4%	▲10.8%	▲10.0%	▲11.4%
総量 (t-CO ₂)	11,604	10,468	9,816	10,348	10,448	10,276

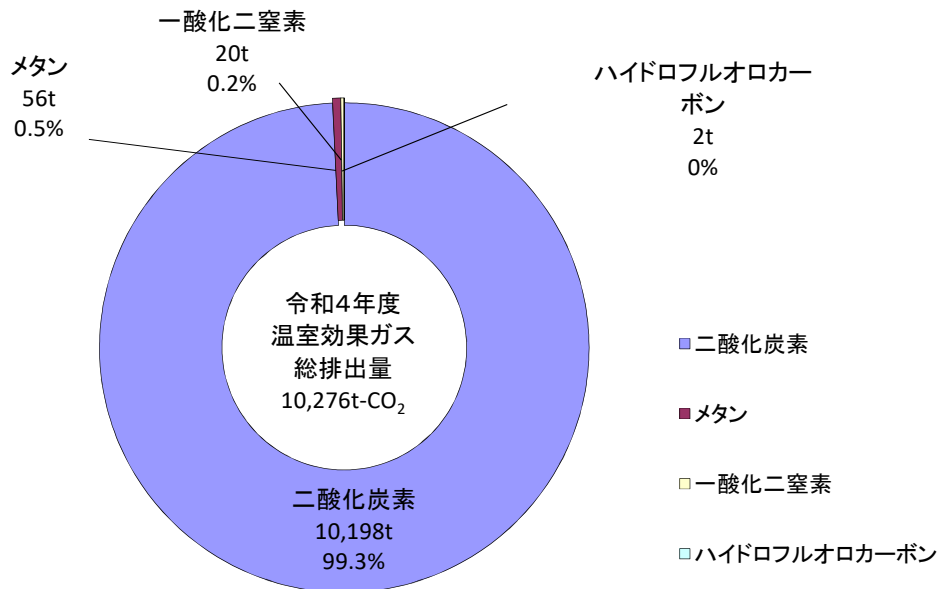
2 温室効果ガスの種別の排出量の推移

温室効果ガスをガス種別で見ると、排出量及び減少分共に二酸化炭素がほとんどを占めております。

(単位:t-CO₂)

ガス種別	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成25年度増減 (基準年度比)
二酸化炭素	11,522	10,394	9,744	10,271	10,372	10,198	▲ 1,324
メタン	56	51	50	55	54	56	△ 0
一酸化二窒素	25	21	20	20	20	20	▲ 5
ハイドロフルオ ロカーボン	2	2	2	2	2	2	△ 0
合計	11,604	10,468	9,816	10,348	10,448	10,276	▲ 1,328

※ 各分類の排出量は四捨五入して表記しているため、合計が一致しない場合があります。



3 発生源別の温室効果ガス排出量の推移

発生源別に見ると、令和4年度は平成25年度に比べて都市ガスの排出量が増加し、その他の発生源については減少しました。

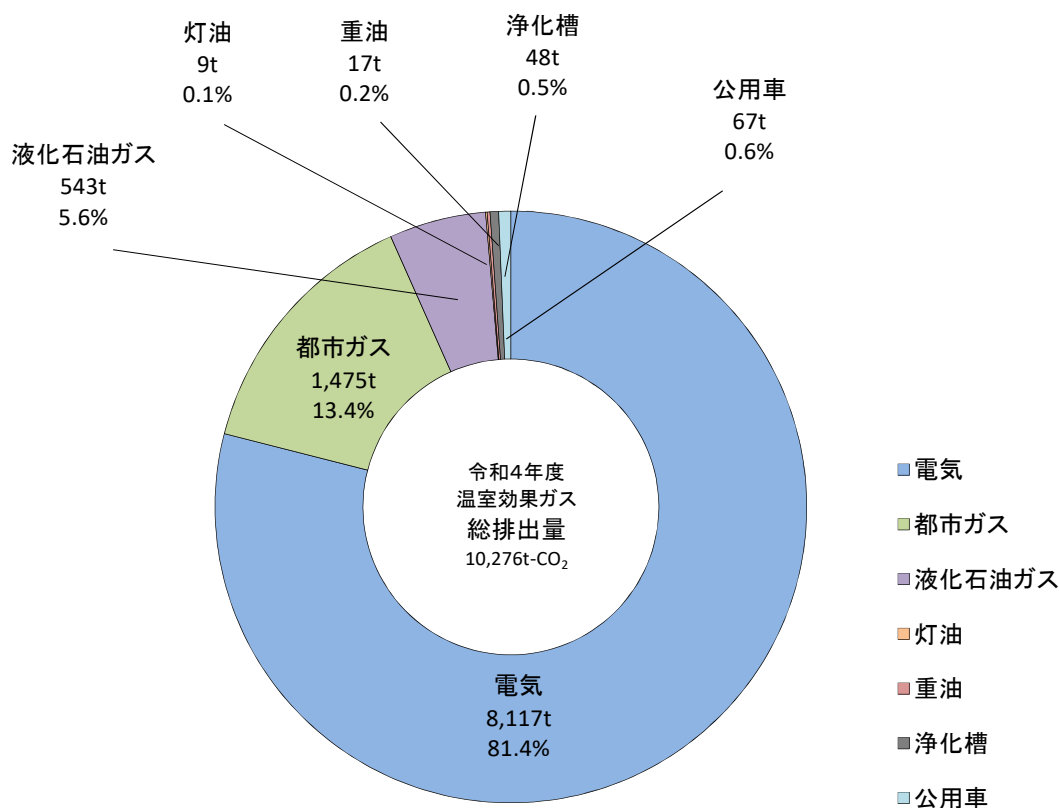
これは、本計画策定以降の集会所や保育園の建替え等に伴うLPガスから都市ガスへの切り替え、小・中学校など灯油を使用するストーブ等から電気又は都市ガス使用の空調設備への設備更新、老人福祉センター及び第二老人福祉センター内温浴施設の都市ガスへの給湯方式の転換等が影響しています。また、温室効果ガス排出の大半を占め電気については、平成26年度に実施した道路照明灯のLED化や市役所の建替え等により電気機器が省エネ機器に変わったことに伴い、排出量が大きく減少しました。重油については、先述のとおり老人福祉センターや第二老人福祉センターの浴槽の給湯方式を重油から都市ガスに切り替えたことで使用量が減少しており、現在は、新座市民総合体育館内のシャワーや給湯設備での使用のみとなっております。

また、昨年度と比較して、都市ガス使用に伴う発生分を除き、温室効果ガスの排出量が減少しておりますが、特に電気を発生源とする温室効果ガスの排出量が大きく改善しております。これは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため実施していた窓の常時開放等を始めた換気対策を一部緩和したことによる公共施設内の空調機器等の使用効率の改善のほか、E S C O事業実施による新座市民総合体育館の照明設備のLED化によるものだと考えられます。

(単位:t-CO₂)

発生源	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成25年度増減 (基準年度比)
電気	9,543	8,328	7,891	8,301	8,358	8,117	▲ 1,426
都市ガス	966	1,235	1,189	1,378	1,374	1,475	509
液化石油ガス	648	600	562	525	571	543	▲ 105
灯油	114	26	16	12	13	9	▲ 105
重油	152	112	27	17	19	17	▲ 135
浄化槽	61	48	48	48	48	48	▲ 13
公用車	120	119	83	67	65	67	▲ 53
合計	11,604	10,468	9,816	10,348	10,448	10,276	▲ 1,328

(単位:t-CO₂)



4 施設別の温室効果ガス排出量の推移

施設別に見ると、令和4年度は平成25年度に比べて、平成26年度に道路照明灯のLED化が完了したことによって排出量が大きく減少したほか、発生源別と同様で平成30年の市役所本庁舎の建替えによる省エネ機器への変更によって排出量が減少しました。令和4年度においては、市役所庁舎や公民館、新座市民総合体育館等の広く市民に開放された公共施設については、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための換気対策が、一部緩和されたことにより、排出量が減少しました。特に市民総合体育館については、先述のとおりE S C O事業による照明のLED化を実施されたことから大きく改善されたものです。

(単位:t-CO₂)

施設名	平成25年度 (基準年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成25年度増減 (基準年度比)
市役所庁舎	883	619	633	696	704	678	▲ 205
市営墓園	98	64	77	70	67	72	▲ 26
駅前暫定駐車場 自転車等駐 車場・放置自転 車返還所	294	191	190	250	231	204	▲ 90
道路照明灯	1,391	618	419	482	481	479	▲ 912
集会所	143	175	180	118	132	148	5
公園	123	115	56	57	53	107	▲ 16
保育園	305	370	380	430	328	431	126
放課後児童保育 室	82	181	113	108	125	137	55
福祉施設	667	761	737	756	755	832	165
浄水場等	2,629	2,228	2,184	2,542	2,515	2,359	▲ 270
公民館	616	557	558	481	608	522	▲ 94
市民会館・中央 図書館	294	336	353	274	345	357	63
スポーツ施設	468	450	477	436	424	255	▲ 213
教育施設	254	275	156	145	39	6	▲ 248
小学校	2,103	2,252	2,141	1,944	2,408	2,458	355
中学校	1,095	1,137	1,061	1,472	1,152	1,151	56
その他施設	40	20	18	20	15	13	▲ 27
公用車	120	119	83	67	66	67	▲ 53
(ガソリン自動車)	116	116	78	63	61	64	▲ 52
(軽油自動車)	3	3	5	4	5	3	▲ 0
(天然ガス自動車)	1	0	0	0	0	0	▲ 1
(電気自動車)	0	0	0	0	0	0	—
合計	11,604	10,468	9,816	10,348	10,448	10,276	▲ 1,328

※ 各分類の排出量は四捨五入して表記しているため、合計が一致しない場合があります。

